

南武 人材を活用するシリンドラーの達人



食堂にはほぼ全員が集まり、硬軟の情報を交換する

毎月第1金曜日の午後3時、南武の社員食堂には100人あまりの社員が集まって来る。どうしてもはずせない仕事を抱える数人を除き、ほとんど全社員が集まる「お誕生日会」だ。その月に誕生日を迎える社員に社長からプレゼントを手渡し、みんなでビールを飲む。社内結婚の報告があり、業績の説明があり、人事異動の発表があり、新人の紹介がある。

「お誕生日会」と名付けているが、内容的には公私含め会社のできごとすべてを共有する「社員総会」に近いのかもしれない。硬軟の話題はまじめと笑いのバランスが絶妙。野村和史社長の訓示も「みんなのおかげで業績は好調。この春のベアスツップは一部上場企業をしのぐ水準で決定した。でも、税金や保険を引くとあんまり変わらないから期待しないように」といった調子。細かい数字まですべて社員に開示するのが野村社長の経営手法だ。

06年9月期には前年度比12・9%増の売上高21億円を見込む。注文の

毎月誕生会で情報共有 女性や留学生も活躍

床しているのに加え、06年に入って静岡浜松市にサービスセンターを新設、さらに6月にはタイ工場を移転し3倍の規模に拡張・稼働する計画となっている。

数字に表れる優良企業ぶりよりも南武の強さを印象づけるのが、冒頭のお誕生日会に代表されるユニークな経営手法。極力資産を持たず、工場の拡張はすべて賃貸で対応するといった経営哲学もあるが、特に目立つのが独自の採用活動と教育、人材の活用策だろう。例えば近隣の蒲田女子高校から毎年卒業生を採り、このうち希望者を生産の現場に配置して工場を移転して3倍の規模に拡張・稼働する計画となっている。

数字に表れる優良企業ぶりよりも南武の強さを印象づけるのが、冒頭のお誕生日会に代表されるユニークな経営手法。極力資産を持たず、工場の拡張はすべて賃貸で対応するといった経営哲学もあるが、特に目立つのが独自の採用活動と教育、人材の活用策だろう。例えば近隣の蒲田女子高校から毎年卒業生を採り、このうち希望者を生産の現場に配置して工場を移転して3倍の規模に拡張・稼働する計画となっている。

日本の学生の人気就職先ランキングには、毎年多少の差こそあれ常連企業の社名が並ぶ。三井物産もトヨタ自動車もJTBも確かにいい会社だ。けれど、日本中の学生が同じ会社を目指さなくておかしい。人にはそれぞれ適性があり、仕事に対する希望がある。採用する企業側も事業内容や社風は千差万別。学生と企業の出合いには、もっと多様な組み合わせがあってもいい。特に学生に知ってほしいのが優良な中小企業の情報。日本経済を支えるたぐさんの中小企業のなかには、上場企業をしのぐ技術や業績を誇る会社がたくさんある。

この数年、自動車業界は積極的な設備投資を行っている。これを受けて南武の業績も拡大が続き、増加に励むため毎年のように工場を拡張。大田区の本社工場を次々と増

仕事は面白くない、給料も安い



千代田の現場で女性もCNC機を操る

(http://www.w.nambu-cy1.co.jp)